

kadai02_2



作成するファイル

- Kadai02_2Controller.php
- kadai02_2.blade.php

Kadai02_2Controllerの作成

コマンドプロンプトを起動して、Laravelプロジェクトフォルダまで移動しましょう。
プロジェクトフォルダまで移動できたら、下記のmakeコマンドを実行してください。

```
php artisan make:controller Kadai02_2Controller
```

作成された「Kadai02_2Controller.php」にindexメソッドを追加して、「kadai02_2.blade.php」ビューを呼び出すようにしましょう。

indexメソッド

ビューへ渡すデータ

```
$message = "コントローラーからビューへ渡された値。";
```

kadai02_1のビューへ上記メッセージデータを渡すように、呼び出すようにしましょう。

kadai02_2.blade.phpの作成

「Kadai02_2Controller」から渡されるメッセージデータをBladeディレクティブを利用して表示してみましょう。
使用するタグは、文章なので段落を意味づけするタグを指定してください。

web.phpにルーティングの設定を追加

エン트리ポイントとコントローラーを紐付けるためのルーティングを追加してください。

チェック

PHPサーバーを起動して、正常に表示されるかを確認しましょう。

http://127.0.0.1:8000/kadai02_2/